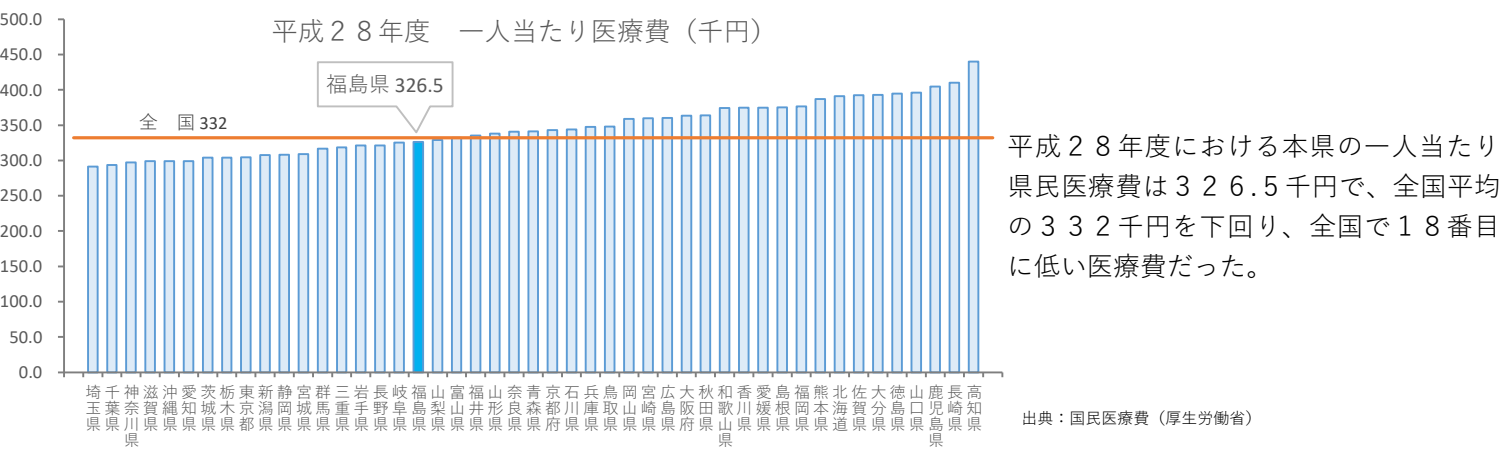


第二期福島県医療費適正化計画 「新生ふくしま健康医療プラン」実績評価（概要版）

1 第二期計画について

- 本計画は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき策定したものであり、第二期計画の計画期間は平成25年度から平成29年度までの5年間。
- 県民の健康の保持増進や医療の効率的な提供等を通じて、医療費の過度な伸びを抑制し適正化することを目的として、「第二次健康ふくしま21計画」、「第6次福島県医療計画」、「第五次福島県介護保険事業支援計画」とそれぞれ調和を図っている。
- 計画終了翌年度に、目標の達成状況及び施策の実施状況の調査・分析を行うこととされる。

2 医療費の動向



3 実施した施策

○ 県民の健康の保持の推進に関する施策

東日本大震災の影響に配慮した健康づくり	生活習慣病の発症と重症化予防の徹底	市町村国保における医療費適正化対策に対する支援
<ul style="list-style-type: none"> 被災者への健康支援 <ul style="list-style-type: none"> 被災市町村への専門職の確保・配置 栄養士や歯科衛生士を被災市町村へ派遣 心のケアセンターを県内各地域に設置 県民健康調査による取組 <ul style="list-style-type: none"> 基本調査の実施 甲状腺検査の実施 避難区域等を対象とした健康診査の実施 心の健康度・生活習慣に関する調査の実施 妊産婦に関する調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 一次予防の推進（発症予防） <ul style="list-style-type: none"> 福島【健】民バスポート事業 減塩＆野菜を食べようキャンペーン 「空気のきれいな施設認証制度」を創設 二次予防の推進（早期発見・早期治療） <ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査・特定保健指導に携わる担当者に対する研修会の開催 市町村職員のためのがん検診受診率向上等事例研究会の開催 がん検診受診啓発イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村国保 <ul style="list-style-type: none"> 福島県市町村国保広域化支援方針の改定 レセプト点検研修会の開催 データヘルス計画策定 特定健康診査・特定保健指導に関する保険者に対する個別指導等の実施 後期高齢者医療 <ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療広域連合への技術的助言 市町村への技術的助言

○ 医療の効率的な提供の推進に関する施策

東日本大震災・原子力災害への対応	医療機能の分化・連携	在宅医療の推進
<ul style="list-style-type: none"> 医療提供体制 <ul style="list-style-type: none"> 医療従事者の人材確保に関する支援 避難地域の医療提供体制の再構築 浜通り地方の二次・三次救急医療の強化 福祉提供体制 <ul style="list-style-type: none"> 福祉・介護人材の定着促進・育成・確保・再就職支援 仮設住宅等へ避難している高齢者に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県地域医療構想の策定 かかりつけ医・かかりつけ歯科医師への支援 各地域がん診療連携拠点病院において、各地域の医師会等と連携し、地域連携クリティカルパスを作成 病床機能分化・連携を推進するための病院施設・設備整備の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護人材育成 地域包括ケアに関する研修会支援事業 認知症対策（地域支援関係者・医療従事者等に対する対応力向上研修の実施等） サービス付き高齢者向け住宅登録制度の普及 登録を受けようとするサービス付き高齢者向け住宅の審査、登録後の訪問・助言
医療と介護の連携	精神障がい者の地域移行	後発医薬品の使用促進
<ul style="list-style-type: none"> 福島県在宅歯科医療連携室の設置運営 地域包括支援センター職員研修 自立支援型地域ケア会議の立ち上げ 地域リハビリテーション支援体制整備推進 たんの吸引等が実施可能な介護職員の養成 退院調整ルールの策定・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民等向け理解促進研修 精神障がい者ピアサポーター雇用に関する理解促進研修 精神科訪問看護人材育成支援事業 授産事業振興対策事業への支援 障害者就業・生活支援センターの設置・運営支援 日常生活自立支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県後発医薬品安心使用促進協議会における協議 後発医薬品使用実態アンケートの実施 福島県後発医薬品研修会（医療従事者向け）の開催 後発医薬品安心使用促進の啓発（出前講座（一般向け）） 後発医薬品採用基準及び採用品目リスト作成

4 実績

○ 県民の健康の保持の推進に関する目標・実績等

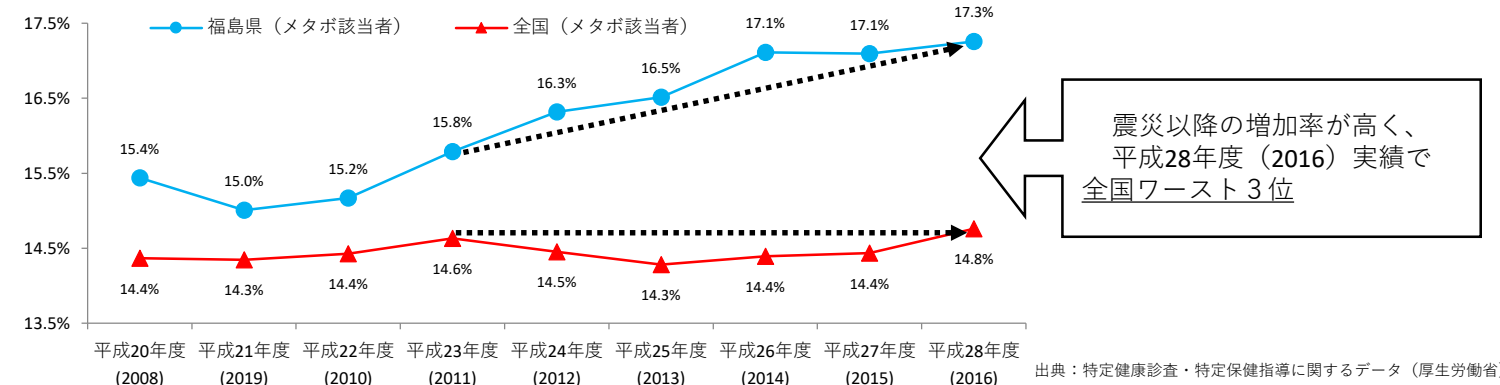
※ 喫煙率の出典である「国民生活基礎調査」及び平均在院日数の出典である「病院報告」は、年度単位ではなく年単位の統計のため、「年度」を「年」と読み替える。

項目	目標値（平成29年度）	実績値（平成28年度）	全国順位	今後の課題
① 特定健康診査の実施率	70%以上	51.1%	18位	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査・特定保健指導の実施率は全国平均並かやや上回って推移しているが、目標を大きく下回っており、引き続き受診率向上の取組が必要。 メタボリックシンドローム該当者・予備群者の割合は震災以降増加。該当者の割合は全国ワースト3位となっており、今後も重点的な対策が必要。 喫煙率は男女ともに全国平均を上回っており、健康への影響を鑑み、喫煙・受動喫煙対策に重点的に取組む必要あり。
② 特定保健指導の実施率	45%以上	23.5%	17位	
③ メタボリックシンドローム該当者・予備群者の減少率	平成20年度と比べて25%以上の減少	▲2.85% (2.85%増加)	41位	
④ 喫煙率	17%以下 男性:27%以下 女性:7%以下	22.3% 男性:34.4% 女性:10.8%	ワースト4位	

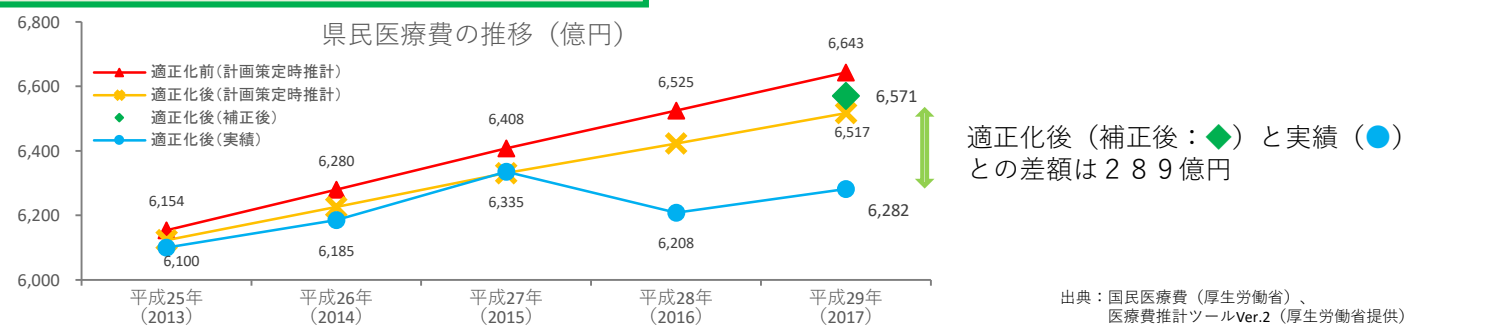
○ 医療の効率的な提供の推進に関する目標・実績等

項目	目標値（平成29年度）	実績値（平成28年度）	全国順位	今後の課題
① 平均在院日数	30.4日以内	28.5日	21位 ※低い方から	<ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数については目標を達成できたが、精神障がい者の長期入院が課題となっていることから、退院後生活環境相談員等による入院早期からの支援を行うなどの取組が必要。 後発医薬品の数量シェアでは、目標を達成しているが、制度別に見ると後期高齢者におけるシェアが全国平均を下回っており、引き続き使用促進に向けた取組が必要。
② 後発医薬品の数量シェア	旧指標：30%以上 新指標：70%以上	旧：50.5% 新：73.0% (平成29年度)	旧:33位 新:33位	

メタボリックシンドローム該当者の割合



5 医療費推計と実績の比較



6 総評及び今後の取組

第二期計画期間において様々な施策によって震災の影響に配慮した健康づくり及び県民生活の維持・向上に努めてきたが、依然として本県にとって厳しい状況が続いている。今後は、昨年3月に新たに策定した第三期計画の実行を通じ、関係機関と連携の上、県民の健康の保持の推進、医療の効率的な提供の推進に引き続き取り組む。

○ 県民の健康の保持の推進に関する取組

- 知事先頭に、関係団体と共働して「（仮称）健康長寿ふくしま会議」を立ち上げ、オール福島の体制で県民の健康づくりに取り組む。
- 特定健診・保健指導の実施率が高い地域等について要因分析し、効果的な取組例等の情報提供を通じた横展開など、市町村等を支援する。
- メタボリックシンドロームを未然に防ぐため、より多くの県民が健康づくりに取り組むよう機運の醸成と環境づくりを進める。
- 関係団体と連携しながら喫煙の害及び受動喫煙防止に関する情報提供・普及啓発を実施する。

○ 医療の効率的な提供の推進に関する取組

- 在宅医療提供体制の強化や県民理解を促す啓発のほか、関係団体等とも連携し、在宅医療・介護連携の推進を支援する。
- 精神障がい者の早期退院や地域移行を促進するため、入院早期からの支援等を行う。
- 県民に対しての講習会の実施や、医療機関・薬局に対しては中核病院等の後発医薬品採用リスト等の公表等を通して、後発医薬品の普及・啓発に取り組む。